

第15回 全日本 学生フォーミュラ大会 ローカル規則 第2号

2017年2月7日発効

この文書は、第15回全日本学生フォーミュラ大会において適用するローカル規則を大会参加チームに周知するものである。追加のローカル規則が必要となった場合、順次 JSAE ウェブサイト上に掲載する。本ローカル規則は第15回大会でのみ有効である。

第15回全日本 学生フォーミュラ大会 ルール委員会

国内・海外チーム ICV・EV クラス共通

J2017-31 ビジネスロジックケースの提出物(関連規則 2017-18FSAE®S3.3、2017 大会規則 第11,12条)

ビジネスロジックケースは、チームページからダウンロードできる日本大会用の書式を用い、電子データで提出すること。その他の書式での提出の場合、プレゼンテーション審査を受けられない場合がある。尚、ビジネスロジックケースの書式におけるフォントサイズは日本語、英語ともに10ポイント以上とし、ページ数の変更は認めない。

J2017-32 コストと製造の審査の書類選考(関連規則 2017 大会規則 第11,12条)

コストレポートが提出期限内に提出された場合でも、コストレポートの書類審査が不可能と審査員が判断した場合は、大会当日のコストと製造の審査を受けられない場合がある。この場合、コストと製造の審査のポイントはマイナス100ポイントが与えられる。またチームの都合により大会当日のコストと製造の審査を受けられなかった場合は、コストと製造の審査は不参加扱いとし、Cost point、Accuracy point、Real case point は0ポイントが与えられる。

書類審査が不可能と審査員が判断する例

- ・J2017-33 で定義されたコストと製造の審査のための提出物(・BOM ・部品ごとのコスト計算データ ・裏付け資料)の内、1つでも欠落している。
- ・BOM が未完成。
- ・部品ごとのコスト計算データが未完成。
- ・裏付け資料が50%以上不足している。
- ・電子データと印刷物の記載内容が一致していない。

J2017-33 コストと製造の審査のための提出物(関連規則 2017-18FSAE® S4.9、S4.13)

コストレポートは、以下を含み、電子データのCD-ROMと印刷物の双方を提出すること。

(1) BOM

車両1台分のコストを計算するシートで、書式は FSAE ウェブサイト「<http://www.fsaeonline.com/>」の「2017 FSAE Cost eBOM」からダウンロードできる「FSAE_eBOM.xls」を使用すること。その他の書式での提出の場合、コストと製造の審査を受けられない場合がある。

※ファイル名およびファイル形式：車両番号_学校名_SFJ_CR_BOM.xls(x)

(2) 部品ごとのコスト計算データ

アセンブリまたは部品ごとのコストを計算するシートで、書式は FSAE ウェブサイト「<http://www.fsaeonline.com/>」の「2017 FSAE Cost Inputs」からダウンロードできる「FCA_Inputs.xls」を使用すること。その他の書式での提出の場合、コストと製造の審査を受けられない場合がある。

※ファイル名およびファイル形式：車両番号_学校名_SFJ_CR_FCA.xls(x)

(FSAE ルールと同様に、BOM と部品ごとのコスト計算データを一つの Excel file とし CR_BOM として

も良い。)

(3) 裏付け資料

部品ごとのコストを計算するために必要な数字の確からしさを証明する資料で、書式は自由。

※ファイル名およびファイル形式：車両番号_学校名_SFJ_CR_Supplement.pdf とする。

裏付け資料には少なくとも下記の資料を含むこと。

- a. FSAE® S4.13 で「made」に定義された部品 (Cost tables、2017-18FSAE® APPENDIX S-3 および J2017-36 を参照) の三面図または三面図相当の資料。
- b. 複合材の部品については、個々の部品の材質、構成、製作方法。
- c. 配線図。

なお、電子データで提出する Excel file は、pdf に変換しないこと。pdf に変換された BOM と部品ごとのコスト計算データは、電子データを提出したこととは認めない。

J2017-34 コストテーブルへの追加品目の要求 (関連規則 2017-18FSAE® S4.14)

日本大会用の公式コストテーブルは 2017 年 4 月上旬に第 1 版を公開する。車両に採用する「購入」部品や工法等が、そこに含まれていない場合、チームは Q&A システムの「コストテーブル追加品目要求ページ」より提出すること。別途指示する Add Item Request の Excel file に必要事項を記載したものと、裏付け資料とをまとめて、ZIP または LZH 形式で圧縮して添付すること。提出締め切りは 2017 年 5 月 12 日 14:00 (日本時間) とする。これらを反映したコストテーブル最終版は 6 月初旬に発行し、その時点で凍結する。

日本最終版のコストテーブルと FSAE のコストテーブルとでコストが異なったり、後者に新規部品が追加されたとしても、日本最終版のコストテーブルが優先される。

レポート作成時に追加品目要求が間に合わず、コストテーブルにない部品を記載せざるを得ない場合は、チームで価格を査定し、それが識別できるように表記すること (セルの色付け等)。コスト審査員で再査定のうえ、応分の減点が与えられる場合がある。

J2017-35 コストレポートの追補 (関連規則 2017-18FSAE® S4.17.1、APPENDIX S-5)

コストレポートの提出後に行われた設計変更を反映した追補を提出する時は、日本大会用の書式 (チームページにて公開) を使用すること。その他の書式は受け付けない。

国内・海外 EV クラスのみ

J2017-36 EV 用システムとアッセンブリーの系統リスト (関連規則 2017-18FSAE® APPENDIX S-3)

コストレポートにおいて、EV 専用部品は下記に従い、システム 4)Electrical に分類しなければならない。

4) Electrical – EL

- Motor, Tractive
- Battery, Tractive
- Accumulator Container
- Wiring HV
- Conduit
- Electronic Control Unit (ECU)
- Chassis Control Module (CCM)
- Accumulator Management System (AMS) (Battery Management System (BMS))

- Motor Controller (MC)
- Power Distribution Module (PDM)
- Tractive System Active Light (TSAL)
- Isolation Monitoring Device (IMD)

J2017-37 EV のコスト審査のための提出物（関連規則 2017-18FSAE® S4.22）

コスト審査当日に、封印等により目視確認ができない EV 専用部品については、審査員から提出を求められた場合、当該部品のコスト算定根拠を確認できる写真を提出しなければならない。

コスト審査員の要求に対し写真が提出出来ない場合は、最大 20 ポイント減点する。

J2017-38 コストレポートの免除項目（関連規則 2017-18FSAE® S4.23 ， ローカルルール J2017-21）

Ready-To-Drive- Sound (Tractive System Active Sound (TSAS)) は、コストレポートに含める必要は無い。

国内・海外チーム ICV・EV クラス共通

J2017-39 プレゼンテーション審査の書類選考

（関連規則 2017-18FSAE® S5.1.6、S5.2.2、S5.6.3、2017 大会規則 第 11,12 条、ローカルルール J2017-31）

ビジネスロジックケースが提出期限内に提出された場合でも、事前審査の結果によっては、大会当日のプレゼンテーション審査が受けられない場合がある。この場合、プレゼンテーション審査のポイントは 0 ポイントが与えられる。また、内容に不備があると審査員が判断した場合、応分の減点が与えられる。この場合、減点はプレゼンテーション審査のポイントに合算される。ただし、プレゼンテーション審査のポイントと合算した結果がマイナスとなる場合には、プレゼンテーション審査のポイントは 0 ポイントが与えられる。

J2017-40 デザイン審査の書類選考（関連規則 2017-18FSAE® S6.9）

デザインレポートおよびデザインスペックシートが提出期限内に提出された場合でも、事前審査の結果によっては、大会当日のデザイン審査を受けられない場合がある。この場合、デザイン審査のポイントは、20 ポイントを上限に与えられる。

J2017-41 デザイン審査のための提出物（関連規則 2017-18FSAE® S6.2、S6.11）

日本大会では当日審査時間が 30 分と限られている中で、有効な審査を行うためにデザインドキュメントによる事前審査を重要視している。関連規則を十分に咀嚼し、完成度の高いデザインドキュメントを提出すること。

デザインレポートのテキストページにおけるフォントサイズは英語・日本語共に DTP ポイント 8pt 以上とし、上下左右の余白は 10mm 以上取ること。文字間隔は極端に詰めないこと。

3 面図には少なくとも全長、全幅、全高、ホイールベース、前後トレッド、最低地上高を記載すること。

J2017-42 デザイン審査の手順（関連規則 2017-18 FSAE® S6.2、S6.11、S6.12）

審査の手順は、FSAE Design Judging : A Student Guide for Understanding the Process に順ずる。

時間配分は Setup (ジャッジの専門分野紹介) 2 分、Introduction (チームから車両の説明) 3 分、Questioning (質疑応答) 22 分、Closing (簡単な講評) 3 分 の合計 30 分とする。

Setup と Introduction の全体風景を審査エリア外から説明員以外のチーム員が撮影することは認める。

エリア内の説明員による撮影・録音、および Questioning 以降は一切の撮影・録音を禁止する。

Scoring は審査会場においては行われず、スコアシートも審査会場では渡されずに大会終了後送付される。

審査は全チームに対するデザイン審査、およびデザイン審査により選出されたおおむね2~4チームに対するデザインファイナルの2段階で行われる。

J2017-43 不十分な再設計の解釈 (関連規則 2017-18 FSAE® S6.15)

前年度と類似ではあっても高度なコンセプトをキープし、ブラッシュアップを図っている車両に関しては不十分な再設計とはみなさず、新設計と同等の加点対象とする。

ただしデザインレポートにおいても前年度のコピー&ペースト、もしくはきわめて似たような表現とみられる場合は当該コンポーネント全体を不十分な再設計とみなし、加点は行われない。

J2017-44 静的審査の提出物の送付先 (関連規則 2017-18 大会規則 第11条)

チームページ	https://tech.jsae.or.jp/formula/2017team/login.aspx からログイン
郵送先	102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル 電話 03-3262-8214 公益社団法人自動車技術会 全日本学生フォーミュラ大会事務局 吉田・飯島
E-mail	formula@jsae.or.jp

以上